

5. 二本松市における交通体系のあり方の整理（基本方針の設定）

5.1 基本的な考え方（事業の目的の明確化）

本計画の目的は、二本松市における公共交通のサービス水準の確保のあり方を整理し、地域にみあった持続可能な交通体系を確立することである。

二本松市における交通体系のあり方の検討における基本的な考え方を以下に整理する。

●市民が利用しやすい交通体系

自動車の運転ができない高齢者や子どもなど交通弱者と呼ばれる方を始めとして、地域住民が安心して日常生活を過ごせる生活交通を確保します。

●地域間において均一な交通体系

それぞれの地域の状況や需要に見合った交通システムを検討するとともに、地域格差の見直しにより、地域の交通サービス水準の均一化、均衡化を図ります。なお、現状のサービス水準の維持または向上を目指します。

●効率的で連携した交通体系

各交通システムにおける役割を明確にして交通システムの一体化、連携を行い効率的な交通体系を確立します。公共交通の持続可能性の観点から、市の財政負担の効率化を図りながら、サービス水準の維持または向上を目指します。

●地域が支える交通体系

少子化社会、公共交通の利用者数の減少など、公共交通の存続が課題となっている中、地域や市民が協働して支える持続可能な公共交通体系を目指します。限られた資源の中で最低限必要とされるものを優先的に整備します。また、市民の積極的利用促進を図ります。

●まちの活性化を担う交通体系

市民が移動しやすい交通体系の確立においては商業振興、観光振興も視野に入れ、商業者、医療機関、市内事業者との連携のもと、まちの活性化を担う交通体系を確立します。

●環境に配慮した公共交通

公共交通の利用を図ることにより、交通渋滞の緩和や環境に配慮した地球に優しい交通体系を目指します。

なお、次項より二本松市の交通体系の基本方針として、交通体系のあるべき姿（交通体系の基本方針）を整理する。